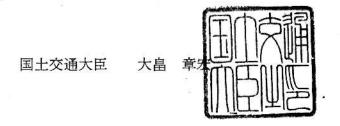


認定書

国住指第 4074 号平成 23 年 2 月 28 日

大和建材工業株式会社 代表取締役社長 岡本 健太郎 様



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第七号並びに同法施行令第107条第二号及び第三号(外壁(非耐力壁):各1時間)の規定に適合するものであることを認める。

記

- 1. 認定番号 FP060NE-0164
- 2. 認定をした構造方法等の名称 鋼板・せっこうボード・ロックウール吸音材・木毛セメント板表張/軽量鉄骨下 地外壁(非耐力)
- 3. 認定をした構造方法等の内容 別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名:

鋼板・せっこうボード・ロックウール吸音材・木毛セメント板表張/軽量鉄骨下地外壁(非耐力)

2. 申請仕様の寸法:

申請仕様の寸法を表1に示す。

表 1 申請仕様の寸法

項目	申 請 仕 様
壁の高さ	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁の厚さ	52.5mm以上
胴縁間隔	607mm以下

注)間柱、胴縁は壁厚より除く

3. 申請仕様の主構成材料:

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表 2 申請仕様の主構成材料		
項目	申 請 仕 様	
間柱	材料:①又は②	
	①間柱あり:1)又は2)	
	1) 一般構造用軽量形鋼(JIS G 3350)	
	2)一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)	
	形状·寸法:a)、b)又はc)	
	a) □-100×50×20×2.3mm以上(ダブル仕様)	
	b) □-100×100×2.3mm以上	
	c)H-100×100×6×8mm以上	
	間柱間隔:構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法	
	②なし	
胴縁	材料:①~④の一	
	①一般構造用軽量形鋼(JIS G 3350)	
	②一般構造用角形鋼管(JIS G 3466)	
	③一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)	
	④建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136)	
	形状・寸法: □-100×50×20×2.3mm以上	
外装材	材料:①~⑫の一	
	①塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)	
	②塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	
	③塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	
	④溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)	
	⑤溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)	
	⑥溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)	
	⑦塗装ステンレス鋼板(JIS G 3320)	
	⑧溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	
	⑨ステンレス鋼板(JIS G 4304)、(JIS G 4305)の一部	
	(鋼種: SUS430、SUS445J1、SUS445J2、SUS447J1)	
	⑩高耐候性圧延鋼材(JIS G 3125)	
	⑩塩化ビニル樹脂金属積層板	
	(国土交通大臣認定不燃材料:NM-8674~NM-8696の一)	

つづく

つつさ	
外装材	⑫ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744)
4. 200 et 200 4.	(但し、鋼板及びめっき鋼板に限る。)
	但し、塗装品の塗布量:70g/m²以下(有機質量)
	降伏点: 205N/mm ² 以上
	形状:折板(仕様1又は仕様2)
	厚さ(t):0.35mm以上
	寸法:
	仕様1:働き幅(R);113(-11)mm以上~340(+10)mm以下
	山高さ(d);10(-1)mm以上
	谷底幅(b);35(+3.5)mm以下
	仕様2:働き幅(R);320(-10)mm以上~800(+10)mm以下
	山高さ(d) ; 12(-1.2)mm以上~40(+4)mm以下
下地材①	材料:せっこうボード(JIS A 6901)
	厚さ:12.5mm
下地材②	材料:複合断熱材
	構成:1)、2)及び3)
	1)ロックウール吸音材(JIS A 6301)
	材質:a)又はb)
	a) ロックウール吸音ボード
	種類:一号、二号又は三号品
-02	b) ロックウール化粧吸音板
	厚さ:15mm以上
	密度:390(-40)kg/m³以上
	2)木毛セメント板(JIS A 5404)、(国土交通大臣認定準不燃材料: QM-9701)
	厚さ:25(-2)~50(+1)mm
	密度: 0.67(-0.07)g/cm³以上
	3) 張合材(接着材)
	材料:a)~d)の一、又はa)又はb)及びc)又はd)の併用
	a) けい酸ナトリウム系 冷な界 500(50) (2011
	途布量:500(-50)g/m ² 以上
	b)セメント系 塗布量:800(-80)g/m ² 以上
	空
	- で)スケーグル(J18 A 5556) - 寸法:内幅4mm以上、足長20mm以上
	留付間隔:下地材端部425mm以下
	d) くぎ(JIS A 5508)
	寸法: φ2.3×長さ25mm以上
	留付間隔:下地材端部425mm以下
	ELIMINE - I SEMI-MEDITECTOR I

4. 申請仕様の副構成材料:

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

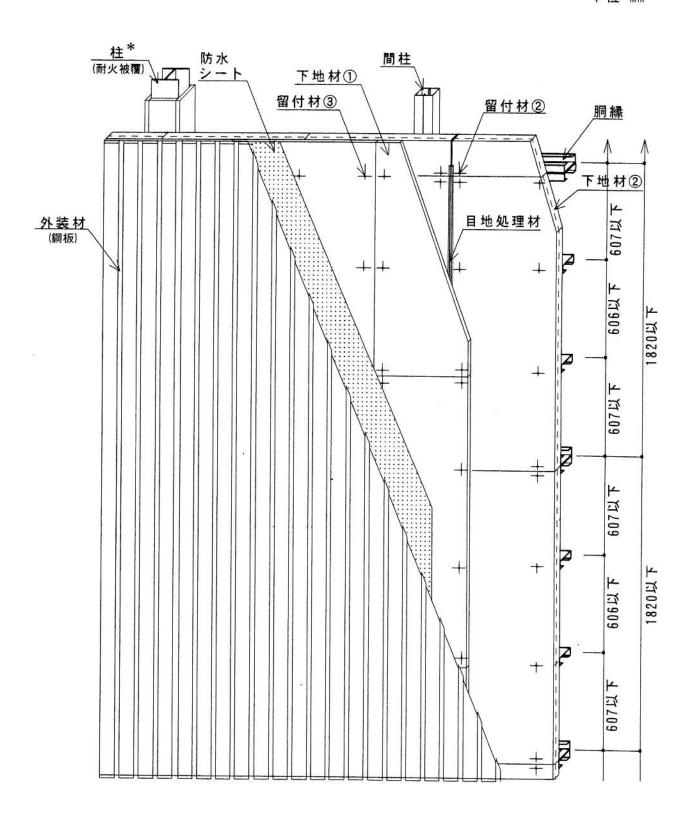
	表 3 申請仕様の副構成材料
項目	申請仕様
胴縁取付金具	材料:①及び②
	①一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)
	寸法:L-75×50×6mm以上
	②一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)
	寸法:平鋼PL-6×75×65mm以上(胴縁ダブル部位仕様)
間柱受け	材料:①、②又は③
Control of the Contro	①なし
	②一般構造用軽量形鋼(JIS G 3350)
	③一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)
	形状・寸法:1)、2)又は3)
	1) $\Box -100 \times 50 \times 20 \times 2$. 3mm以上(ダブル仕様)
	2) □-100×100×2. 3mm以上
Š	3) H-100×100×6×8mm以上
防水シート	材料:透湿防水シート(JIS A 6111)
V/	単位面積質量:80g/m²以下(有機質量)
	厚さ:0.3mm以下
留付材	留付材①(外装材固定用):
Percentus Services	材料:ドリリングタッピンねじ
81	材質:1)~5)の一
	1) 鉄線又は普通鉄線(JIS G 3532)
	2) 冷間圧造用炭素鋼線(JIS G 3507-2)
	3)ステンレス鋼線(JIS G 4309)
	4)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051)
	5) 冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)
	寸法:胴部径 φ 4×長さ70mm以上
	仕様1留付間隔:働き幅の片面端部1箇所留め
	仕様2留付間隔: 267mm以下
	留付材②(下地材②固定用):
,	材料:ドリリングタッピンねじ
	材質:1)~5)の一
	1) 鉄線又は普通鉄線(JIS G 3532)
	2) 冷間圧造用炭素鋼線(JIS G 3507-2)
	3)ステンレス鋼線(JIS G 4309)
	4)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051)
	5) 冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)
	寸法:胴部径 φ 4×長さ50mm以上
	留付間隔:端部425mm以下、中間部850mm以下
	留付材③(下地材①固定用):
	材料:ドリリングタッピンねじ
	材質:1)~5)の一
	1) 鉄線又は普通鉄線(JIS G 3532)
	2) 冷間圧造用炭素鋼線(JIS G 3507-2)
	3)ステンレス鋼線(JIS G 4309)
	4)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051)
	5) 冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)
	寸法:胴部径φ4×長さ65mm以上
	留付間隔:端部405mm以下、中間部810mm以下

つづき

つづき	
留付材	防水シート固定用(仮留):
	材料: 工業用ステープル(JIS A 5556)
	材質:1)又は2)
	1)ステンレス鋼線(JIS G 4309)
	2) 鉄線(JIS G 4309)
	寸法:内幅10mm以上、足の長さ10mm以上
	留付間隔:300mm以下
取付材	胴縁固定用:①及び②
The state of the s	①六角ボルト(JIS B 1180)
	寸法:M12×長さ30mm以上
	②六角ナット(JIS B 1181)
	寸法: M12以上
ジョイナー	仕様:あり又はなし
	材料: ①~⑧の一
	①塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)
	②溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)
	③塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
	④溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
	⑤塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)
	⑥溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)
3* 2	⑦ステンレス鋼板(JIS G 4305)
412	⑧塗装ステンレス鋼板(JIS G 3320)
	厚さ:0.25mm以上
	形状・寸法:T形-幅30×高さ10mm以下
目地処理材	材料:黒鉛含有セラミックファイバー
	組成(質量%):
	セラミックファイバー 84(±5)
	熱膨張性黒鉛 9(±5)
	充てん材(ラテックス) 7(±5)
	厚さ:4mm以上(施工時に厚さを2mmまで圧縮)
	幅 : 40(-4)mm以上
	密度:200(-20)kg/m³以上
	接着剤:けい酸ナトリウム系
	使用量:27g/m以上

5. 申請仕様の構造説明図:

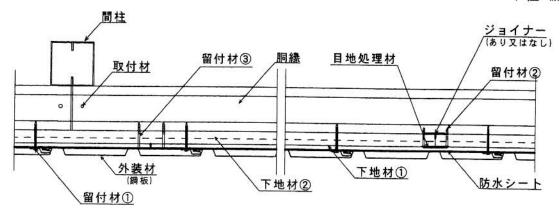
申請仕様の構造説明図を図1~図3に示す。



透視図

*評価対象外

図1 構造説明図



水平断面詳細図

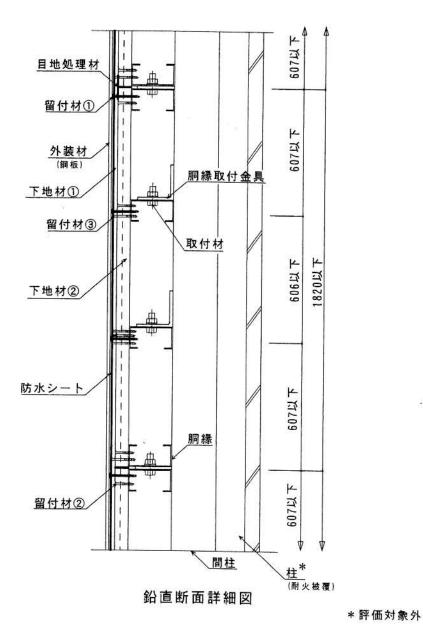
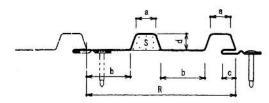


図2 構造説明図

形状:仕様1(①差込式働き幅片面端部1箇所留め)

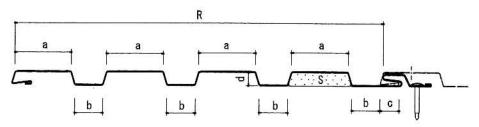


厚さ(t): 0.35mm以上

働き幅(R): 113(-11)mm以上~230(+10)mm以下

山高さ(d): 10(-1)mm以上 山底幅(a): 14(-1.4)mm以上 谷底幅(b): 35(+3.5)mm以下 差込み代(c): 10(-1)mm以上 空間断面積(S): 1.78(-0.18)cm²以上

(②嵌合差込式働き幅片面端部1箇所留め)

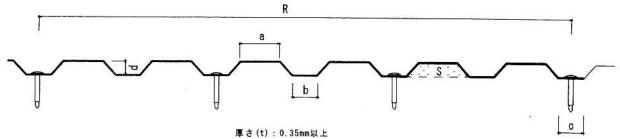


厚さ(t): 0.35mm以上

働き幅(R): 260(-10)mm以上~340(+10)mm以下

山高さ(d):10(-1)mm以上 山底幅(a):40(-4)mm以上 谷底幅(b):35(+3.5)mm以下 差込み代(c):14(-1.4)mm以上 空間断面積(S):3.75(-0.4)cm²以上

形状: 仕様2(重ね式両面端部2箇所以上留め)



働き幅(R): 320mm(-10)以上~800(+10)mm以下 山高さ(d): 12(-1.2)mm以上~40(+4)mm以下 山底幅(a): 30(-3)mm以上~175(+10)mm以下

山底幅 (a): 30(-3)mm以上~1/5(+10)mm以下 谷底幅 (b): 35(-3.5)mm以上~50(+5)mm以下

重ね代(c): 15(-1.5)mm以上

空間断面積(S): 6.3(-0.6)cm²以上 留台

留付間隔: 267mm以下

外装材(鋼板)の折板形状・寸法断面詳細図

折板形状:1)、2)又は3)

1) リブ波板 2) 角波形

2) 角波形 3) 波形

なお、各辺部にリブ補強入りも可 断面係数(Zx): 1.24cm³/m以上

図3 構造説明図

6. 施工方法:

施工図を図4及び図5に示す。 施工は以下の手順で行う。

(1) 胴縁の取付け

- 1) 胴縁の位置は、構造躯体部分に墨出しを正確に行う。
- 2) 胴縁は、反り・曲がり等のないものを使用し、柱の表面に受け金物を介して取付ける。
- (2) 外装下地材の取付け

下地材①及び②は千鳥の重張とし、胴縁の表面に下地材②を留付材②(下地材②固定用)を用いて張付け、その上に留付材③(下地材①固定用)を用いて下地材①を取付ける。

なお、ジョイナーを使用する場合は下地材②を取付け時に敷き込む。

(3) 目地処理材の取付け

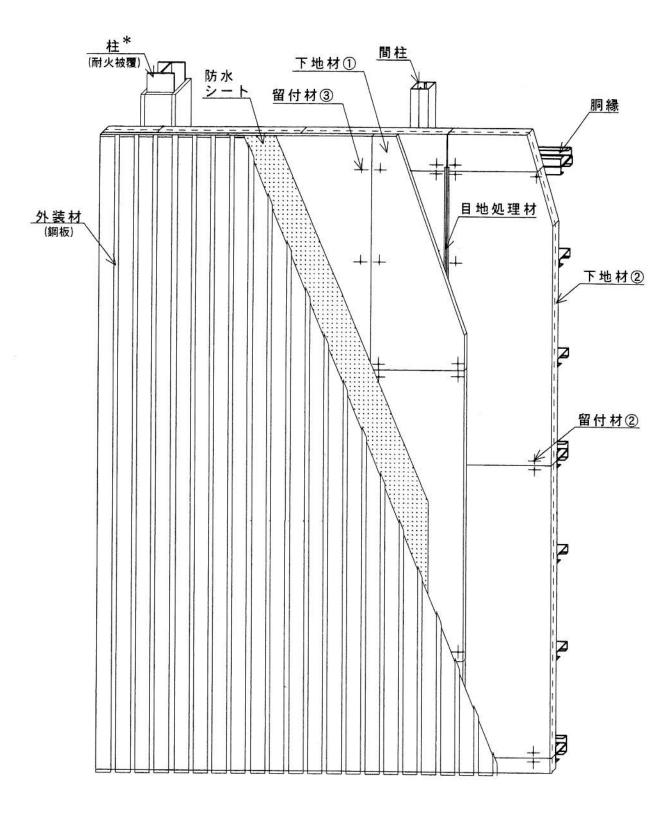
目地処理材は下地材①を取付けた後、その目地部に張付ける。留材材としてけい酸ナトリウム系接着材(27g/m 以上)で張付ける。

- (4) 防水シートの取付け
 - 1) 防水シートは縦張又は横張とし、重ね代は縦方向、横方向共に 100mm 以上とする。
 - 2)取付けは外装材下地材の表面にできるだけ、たるみ・しわのないよう、防水シート固定用留付材を用いて仮留めする。

(5) 外装材の取付け

- 1) 外装材は、縦張とする。
- 2) 基礎・土台又は間柱受に水切りをドリリングタッピンねじ又はタッピンねじにて取付ける。
- 3) 折板形状仕様 1 の留付けは、外装材の水平方向に、片面端部(凹み側)の 1 箇所を、鉛直方向は間隔 607mm 以下で胴縁に留付材①(外装材固定用)にて取付ける。

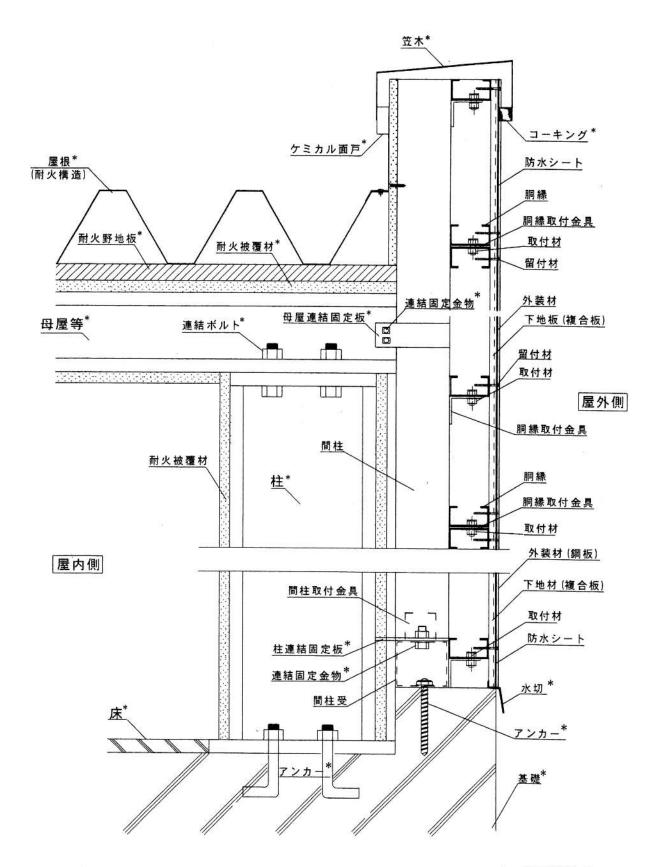
なお、折板形状仕様 2 の場合は、重ね代 15(-1.5) mm 以上とし、水平方向に両面端部の重ね代及び中間部を表面より留付間隔 267 mm 以下で、鉛直方向は間隔 607 mm 以下で胴縁に留付材①(外装材固定用)にて取付ける。



透視図

*評価対象外

図 4 施工図



*:評価対象外

図5 施工図